

令和8年度
砂川合同堰他2ヶ所保守点検業務委託
特記仕様書

岡山市東区役所農林水産振興課

1. 摘 要

この特記仕様書は、岡山市東区役所農林水産振興課の施行する、「砂川合同堰他 2 ヶ所保守点検業務委託」に適用する。

2. 概 要

2-1 委託業務名 砂川合同堰他 2 ヶ所保守点検業務委託

2-2 履行期間 契約日 から 令和 9 年 3 月 3 1 日

2-3 履行場所 岡山市東区政津地内他

2-4 履行範囲

- (1) 本業務範囲は、別表 1. 『点検整備対象設備』に示す各機器及び装置全般の点検及び点検に伴う油脂類の交換、注油、調整、清掃、その他軽微な作業を含むものとする。
- (2) 点検の結果、並びに緊急な異常が発生した場合、維持運営及び応急処置が適切に行われるよう、指導、協議又は助言を行うとともに、基準に適さない事項があるときは、必要な指示を行うものとする。

3. 一般事項

3-1 準拠基準

本業務の施行にあたっては、下記の法規、技術基準等に準拠するものとする。

- (1) 岡山県土木工事共通仕様書
- (2) 機械工事共通仕様書
- (3) ダム・堰施設技術基準
- (4) 水門鉄管技術基準
- (5) 電気設備に関する技術基準
- (6) その他、関係図書

3-2 提出書類

作業終了後、下記の図書を提出すること。

(1) 点検報告書・・・2部

異常を発見したものについては、原因所見又は傷害発生予防等の処置を要する場合はその旨及び将来的改良を含む対策所見を指導し報告するものとする。

(2) 履行写真・・・1部

写真の撮影にあたっては、次の項目を記載した、小黒板等を被写体と共に写し込む。

- 1) 委託業務名
- 2) 工種、作業内容
- 3) 受託者

3-3 指導員派遣

機器については、十分なる経験と技術を有する技術者により点検整備を行うものとする。

3-4 検 収

受託者は、作業終了後、書面により完了の届出をし、監督員の検収を受けるものとする。

4. 履行内容

(1) 点検要領（点検項目・点検内容・点検方法）砂川合同堰

本業務は、別表-2の点検要領に基づいて作業を行うものとする。

(2) 点検要領（点検項目・点検内容・点検方法）神原堰

本業務は、別表-3の点検要領に基づいて作業を行うものとする。

(3) 点検要領（点検項目・点検内容・点検方法）幸崎川取水堰

本業務は、別表-4の点検要領に基づいて作業を行うものとする。

(4) なお、項目表に記載されていない事項であっても、機能上当然必要と思われる事項については、これを充足するものとする。

交換・注油する油脂は監督員と協議して使用するものとする。

また点検に必要な油類については、原則現地に保管している在庫品より使用すること。

- (5) 監督員との協議により必要なその他の整備補修及び緊急時の応急処置があれば速やかに行うこと。

5. その他

5-1 保 証

- (1) 本点検作業中受託者の不注意によって生じた設備の破損故障については、監督員に速やかに報告するとともに自己の責任において復旧しなければならない。
- (2) 本点検完了後1年以内に生じた故障で明らかに点検の不備に起因すると認められたものについては、協議の上、修理を行わせることがある。

5-2 安全確保

- (1) 事故防止の為、点検整備業務を履行するにあたり、十分打合せの上、あらかじめ実施予定日を明記した実施工程表を提出すること。
- (2) 気象条件その他によって監督員が作業の中止を指示した場合には、速やかにこれに従わなければならない。
- (3) 作業中は、保安帽の着用、高所での安全ベルトの使用、電気遮断、相互の連絡を密にする等、安全確保に努めること。

5-3 設備操作等

点検整備に伴う設備の操作は、監督員の指示に従い、他設備に支障を及ぼしたり、管理に支障を与えないようにしなければならない。

5-4 廃油等の処理

廃油、汚垢については、十分な管理のもとに処理するものとし、その処理方法等については、事前に監督員の承諾を得た上で行うものとする。

5-5 疑義等

本特記仕様書に明示なき事項及び疑義を生じた場合は「委託者」「受託者」で協議の上、決定するものとする。

以 上

点検整備対象設備(砂川合同堰)

頭 首 工			
設 備 名	寸 法	数 量	対 象 品
左岸流調ゲート	10.80×2.49m	1 門	戸当り 扉体 開閉装置 操作盤 水位計
ゴム堰	23.50×2.49m	2 門	駆動装置 操作盤
右岸土砂吐ゲート	10.80×2.49m	1 門	戸当り 扉体 開閉装置 操作盤
発電機		1 基	操作室内 発電機
その他		1 式	防護柵 階段 照明装置等

別表-1-2

点検整備対象設備(神原堰)

頭 首 工	
型 式	鋼製シェル型ローラゲート
設 置 数	4 門
純 径 間	15.00m
扉 高	2.40m
設 計 水 位	上流側 H.W.L EL + 2.14 下流側 H.W.L EL - 0.76
操 作 水 位	上流側 H.W.L EL + 2.14 常時操作 EL + 2.04 下流側 H.W.L EL - 0.76 EL - 0.76
水 密 方 式	前面 3 方ゴム水密
撓 み 度	ローラー支間の 1/800 以下
開 閉 方 式	1 モーター 1 ドラムワイヤロープ巻取式 (2 本取り)
開 閉 速 度	0.3m/min (電動時)
揚 程	6.360m
操 作 方 法	自動、電動操作及び手動操作
電 気 設 備	水位検出装置 ディーゼル発電機 照明設備

別表-1-3

点検設備対象設備（幸崎川取水堰 1）

調 節 門	
型 式	鋼製シェル構造フラップ付ローラゲート
設 置 数	1 門
純 径 間	下段扉 13.250m 上段扉 11.750m
扉 高	下段扉 1.300m 上段扉 0.500m
設 計 水 位	上流側 H.W.L EL + 0.082 下流側 H.W.L EL - 1.980
操 作 水 位	上流側 H.W.L EL + 0.082 下流側 H.W.L EL - 1.980
堆 砂 高	1,300m
水 密 方 式	全面 3 方ゴム水密（両面水密）
撓 み 度	下段扉 ローラー支間の 1/800 以下 上段扉 純径間の 1/800 以下
開 閉 方 式	1 モーター 2 ドラムワイヤロープ巻取式
開 閉 速 度	下段扉 0.3m/min （電動時） 0.1m/min （エンジン動時） 上段扉 5 分以内全開
揚 程	下段扉 2.700m 上段扉 45°（全開） ～ 10°
操 作 方 法	機側 電動・手動・エンジン動 遠方 水位計による自動操作
電 源	3 相交流 220V、60HZ

別表-1-4

点検設備対象設備（幸崎川取水堰 2）

制 水 門	
型 式	鋼製シェル構造ローラゲート
設 置 数	1 門
純 径 間	下段扉 13.250m
扉 高	下段扉 1.800m
設 計 水 位	上流側 H.W.L EL + 0.082 下流側 H.W.L EL - 1.980
操 作 水 位	上流側 H.W.L EL + 0.082 下流側 H.W.L EL - 1.980
堆 砂 高	1,300m
水 密 方 式	全面 3 方ゴム水密（両面水密）
撓 み 度	ローラー支間の 1/800 以下
開 閉 方 式	1 モーター 2 ドラムワイヤロープ巻取式
開 閉 速 度	0.3m/min （電動時） 0.1m/min （エンジン動時）
揚 程	2.700m
操 作 方 法	機側 電動・手動・エンジン動 遠方 水位計による自動操作
電 源	3 相交流 220V、60Hz